

VIEW

理由もまともに明らかにせずに「社員の『賃金』を減額する行為」をどう思いますか？

会社は、昨年の年末手当で私たちの労働組合に所属する2名の社員のボーナスを5パーセントカットしました。ボーナスカットされた社員は、管理者に理由を聞きましたが理由すら教えてくれません。そこで社員は、ボーナスカットの撤回と具体的な理由を明らかにすることを求めて「苦情処理申告」を行い1月11日に苦情処理会議が開催されました。

本人からの話によると、会社はカット理由について、一人は「4月頃に接地窓のガラス取り付け時に平座金の取り付けを失念した」「5月頃に工具を紛失した」「磁気栓の取り付け種別を誤った」。もう一人は「5月頃工具を紛失した」「6月頃軸箱体の確認を失念した」「9月頃軸箱体の確認を失念した」ということで勤務成績が良好でないと判断して減額を行ったということです。2名のうち一人の社員には3月末から5月中旬まで「フォロー」と称して作業中後ろに「監視」をべったりつけていました。「精神的にプレッシャーをかけた状態」で作業をさせていたのです。内容は違いますがB担務教育のビデオ撮りが2ヶ月も続いたら作業者の精神状態はどうなりますか？

また、軸箱体の確認失念も多くの社員が経験していることです。現に同じような「指摘」を管理者から受けていてもボーナスカットされる社員とされない社員もいます。どの作業やどのチェックで何回「漏れ」があったらボーナスカットなのか「目安」を明らかにしてほしいものです。

現在、会社は「安全を確保するため」「品質を向上させるため」と称して様々なことを社員に押しつけています。しかし、その多くは「施策のための施策」や「管理者の実績づくり」のような内容ではないでしょうか。「施策をひねり出す人」は、私たちと10年・20年現場で一緒に働く人ではありません。そして、一部の社員を悪者・見せしめにするすることで社員の引き締めを行おうとしています。だから理由もまともに言えないのです。こんなボーナスカットが許され広がっていけば職場は暗くなるばかりです。ものが言える明るい職場をつくるためにみんなで声をあげていきましょう！